

平成30年度士幌町予算審査特別委員会

平成30年3月13日

1 審査付託事件

- 認定第29号 平成30年度士幌町一般会計予算
- 認定第30号 平成30年度士幌町国民健康保険事業特別会計予算
- 認定第31号 平成30年度士幌町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 認定第32号 平成30年度士幌町介護保険事業特別会計予算
- 認定第33号 平成30年度士幌町介護サービス事業特別会計予算
- 認定第34号 平成30年度士幌町簡易水道事業特別会計予算
- 認定第35号 平成30年度士幌町公共下水道事業特別会計予算
- 認定第36号 平成30年度士幌町国民健康保険病院事業会計予算

2 出席委員（11名）

細井 文次	和田 鶴三	秋間 紘一	河口 和吉	清水 秀雄	飯島 勝
出村 寛	森本 真隆	大西 米明	加藤 宏一	中村 貢	

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者

町長	小林 康雄	教育長	堀江 博文
代表監査委員	佐藤 宣光		

5 町長の委任を受けて出席した者

副町長	柴田 敏之	保健医療福祉センター長	山中 雅弘
総務企画課長	瀬口 豊子	地方創生担当課長	石垣 好典
会計管理者	三島 重浩	町民課長	辻 亨
保健福祉課長	高木 康弘	産業振興課長	亀野 倫生
建設課長	増田 優治	道路維持担当課長	佐藤 英明
建設課技術長	田中 敏博	子ども課長	金森 秀文
特老施設長	矢野 秀樹	病院事務長	土屋 仁志
消防課長	土屋 政勝		

ほか、関係職員

6 教育委員会教育長の委任を受けて出席した者

参事	玉堀 泰正	教育課長	藤村 延
給食センター所長	齋藤 英雄	高校事務長	上野 清子

ほか、関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 細野 幸彦

ほか、関係職員

8 職務のため出席した議会事務局職員

事務局長 寺田 和也 総務係長 宇佐見 和重

9 会議録

会 議 の 経 過

(午後 2時46分)

寺田議会 事務局長	ただいまから予算審査特別委員会の構成を行います。 予算審査特別委員会の構成に当たり、委員会条例第8条の規定に基づき清水秀雄委員に臨時委員長をお願いいたします。
清水臨時 委員 長	臨時委員長の職務を行います。 ただいまから予算審査特別委員会を開会します。 直ちに本日の会議を開きます。 これより委員長選挙を行います。 お諮りします。委員長選挙は、臨時委員長による指名推選にしたいと思いを。異議ありませんか。 (異 議 な し)
清水臨時 委員 長	異議なしと認めます。 したがって、委員長選挙は臨時委員長が指名することに決定しました。 お諮りします。委員長に細井文次委員を指名します。ご異議ありませんか。 (異 議 な し)
清水臨時 委員 長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました細井文次委員が予算審査特別委員会委員長に当選されました。 以上をもって委員長と交代します。 暫時休憩します。 暫時休憩
細 井 委員 長	休憩前に引き続き委員会を開きます。 これより副委員長選挙を行います。 お諮りします。副委員長選挙は、委員長による指名推選にしたいと思いを。ご異議ありませんか。 (異 議 な し)

説明

細井 委員長	異議なしと認めます。 したがって、副委員長選挙は委員長が指名することに決定しました。 お諮りします。副委員長に加藤宏一委員を指名します。ご異議ありませんか。 (異議なし)
細井 委員長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました加藤宏一委員が予算審査特別委員会副委員長に当選されました。 ただいまより予算審査特別委員会を行います。 本委員会の運営について特段のご協力をお願いいたします。 審査の方法は、理事者からの総括説明の後、各課より説明を受け、 質疑の後、会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。 (異議なし)
細井 委員長	異議なしと認めます。 したがって、審査の方法は各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決することに決定しました。 なお、説明員の交代につきましては、その都度休息を宣言して行いますので、あらかじめご了承願います。 平成30年度士幌町一般会計予算を議題といたします。 理事者の総括説明を求めます。 副町長、登壇願います。
柴田 副町長	それでは、平成30年度予算の総括説明をさせていただきます。平成30年度予算説明資料により説明をさせていただきます。 まず最初に、1ページでは平成30年度当初予算全会計の総括表となっております。一般会計から病院事業会計まで記載をしておりますが、一般会計では71億4,400万円で、対前年度比6億1,700万円、8.0%減の予算となりました。 国保会計は、北海道との共同運営となり、事業の一部が市町村事業でなくなることから、前年度より9.5%減の10億3,541万2,000円の予算となりました。 後期高齢者会計は1%増の9,758万4,000円、介護保険会計では6.6%増の7億1,043万6,000円、介護サービス会計は2.6%増の5億2,909万8,000円となりました。 簡易水道会計では、水道施設の計装機器等の設備工事が終了したことにより、前年度比15.9%減の3億8,884万5,000円となります。 下水道会計におきましては、老朽化による施設の更新が本年度からスタートすることから、前年度比196.3%増の6億2,604万5,000円となりました。 共済会計は、十勝NOSA Iと再編したことにより、残っていた業務勘定、農作物勘定が全てなくなりました。

病院事業会計においては、医師1名が減となり、1日平均の入院、外来の患者数が減少となる見込みで、収益的支出では前年度比約2,400万円、2.6%減の9億973万1,000円となり、一般会計からの繰入金は3億5,000万円としたところであります。資本的支出では、老朽化に伴うナースコールや冷房機器の改修により、前年度比155.4%増の2億659万5,000円となりました。

全会計の総額は、一般会計、国保会計の減や共済会計がなくなったことにより、111億4,774万6,000円、率で3.4%減の予算となったところであります。

2ページ目は、平成30年度一般会計の歳入歳出別対比表であります。円グラフの外側が30年度分でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入でありまして、一般財源では町税の伸び、特定財源では災害復旧に係る補助金が減となったことにより、一般財源が5%ほど伸びております。下段のグラフが歳出でありまして、同じく災害復旧工事の減により、投資的経費が6億9,050万円、7.3%と大きく減少しております。

3ページ目は、歳入歳出の款別の対比表であります。左側が歳入であります。予算総額が減少したことにより地方交付税のウエートが高くなり、災害復旧に伴う国庫補助金の減により国庫支出金の割合が減少しました。右側の歳出でも同様に、災害復旧費の減と予算総額の減により、それぞれウエートが少しずつ高くなっております。

次に、4ページ、5ページをお開きください。性質別の歳出予算額調べであります。人件費につきましては、構成比率のウエートは高くなってございますが、金額においては微増であります。補助費では、衛生費の病院事業会計の負担金が大きくふえた反面、農林業費の基幹作物輪作維持支援事業助成金が当初予定の3年間が終了したことにより、本年度は当初予算で計上していないため減額となり、その他の補助が2,800万円ほどの増額となったところであります。普通建設事業の補助事業の増につきましては、町道整備の社会資本総合整備事業が1億円程度伸びとなり、単独事業の減少につきましては農園付き住宅整備事業、新道の駅外構工事や学校関係の改修工事のうち、比較的事業費の大きなものが終了したことによるものが主な要因でございます。災害復旧費は、西上橋の災害復旧工事が終了したことにより補助事業がなくなり、パークゴルフ場の災害復旧に係るものを単独事業として計上いたしました。失業対策事業では、近年失業者が著しく減少していることから、本年度においては当初予算には負担金以外計上しないことといたしました。そのほかにつきましては、昨年度と比べ構成比率は少しずつ上がっておりますが、大きな増減はありません。

6ページ、7ページは、節別歳出予算額調べであります。報酬につきましては、統一地方選挙及び町長選挙に係る増であります。旅費の

増加要因は、社会福祉委員の研修によるものであります。需用費のうち食糧費の増については、選挙に係るものであります。役務費では、移住に係る広告料や選挙費用の増によるものであります。使用料、賃借料では、地域おこし協力隊の民間住宅借り上げ料の増や移住フェアに係る出展料、5年に1度の地図情報に係る画像の賃借料などの増が主な要因であります。公有財産購入費及び補償補填及び賠償金の額の減につきましては、建設工事に伴う用地購入費や補償費を少なく見積もったことによるものであります。備品購入費につきましては、ICT教育に伴う機械器具の購入費の減であります。それ以外につきましては、性質別予算額調べの説明と重複いたしますので、省略をさせていただきます。

次に、8ページの性質別歳出予算財源内訳でございますけれども、災害復旧事業費に係る国庫支出金が大きく減少となっております。一般財源の割合が大きくなっているところでございます。

次に、9ページ、10ページですが、ここは建設事業費に関するものであります。まず、1の補助事業であります。社会資本総合整備交付金事業として、継続事業の防雪柵を含めると4路線、橋梁長寿命化修繕は2橋と年次的に行う点検として42橋を見込んでおります。また、公営住宅建替事業として、南百戸及び陸団地の公営住宅建てかえの5棟10戸の建設を見込んだところであります。これにつきましては、資料の15、16ページに位置図及び平面図を載せてございます。補助事業の合計は、6億7,743万円と前年度より1億3,300万円ほど伸びているところであります。

次に、単独事業分としましては、庁舎のタイル及び前庭の補修に1,000万円、下居辺農園付き住宅の外構工事に270万円、避難所であります総合研修センターへのWi-Fi整備事業として288万円、中土幌地区農道整備事業は国営かんがい事業の関連からのものでございまして、17号道路の整備事業といたしまして4,000万円、土幌高原ヌブカの里施設改修につきましては主に水道の送水管設備の改修及び老朽化に伴うロッジや牧柵の改修によるもので1,300万円、道路関係ではいずれも継続事業であります。農道2路線、地方道路事業で舗装の長寿命化修繕を入れて3路線の整備を予定をしております。住宅団地造成事業といたしましては、遊休町有地を活用し、高德へ4区画分の造成を行うものであります。位置図につきましては、18ページに載せてございますので、後ほどごらんください。このほか、学校関係の改修費、特に高等学校の改修につきましては女性職員への対応としましてトイレや更衣室の改修を行うものであります。単独事業の合計は、対前年度比1億5,000万円ほど少ない5億4,070万円となりました。

道営事業では、前年度同様ワッカ美加登線の開設事業分の負担金1,250万円、道営土地改良事業では畑総5地区、農道1地区に1億7,340

万円、合計で1億8,590万円を見込んだところであります。

災害復旧事業は、パークゴルフ場の復旧工事として4,700万円を計上いたしました。この平面図につきましては、資料の17ページに載せてございます。

最後に、失業対策事業分では、執行方針にもありましたとおり、近年失業者が減り続けていることから、本年度は当初予算には計上しないということといたしました。

次に、11ページには国費、道費による各種事業導入調べ、記載のとおりであります。

12ページは、町有林の管理事業位置図でございます。

13ページ、土地改良事業の施工箇所、14ページは土木事業の施工箇所でございます。

その他につきましては、説明いたしましたので、省略をさせていただきます。

以上、平成30年度の一般会計予算の概要の説明とさせていただきます。

細 井
委 員 長

総括説明が終わりました。

本日は、これで予算審査特別委員会を散会いたします。

明日は午前10時より再開いたします。

お疲れさまでした。

(午後 3時02分)